



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月31日

上場会社名 株式会社遠藤照明 上場取引所 東
 コード番号 6932 URL <http://www.endo-lighting.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 遠藤 良三
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営品質本部長 (氏名) 佐川 武志 (TEL) 06-6267-7095
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績 (平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	8,518	△12.0	394	△81.9	1,084	△47.8	748	△20.5
25年3月期第1四半期	9,682	117.4	2,182	524.1	2,078	642.6	941	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 1,136百万円(8.4%) 25年3月期第1四半期 1,048百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
26年3月期第1四半期	50	67	—	—
25年3月期第1四半期	71	72	71	42

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	46,327	47.7	22,109	47.7	—	—
25年3月期	44,434	48.0	21,333	48.0	—	—

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 22,091百万円 25年3月期 21,318百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年3月期	—	20.00	—	25.00	45.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
第2四半期(累計)	19,010	△8.1	1,600	△64.4	2,440	△40.0	1,630	△31.1	110.31
通期	44,000	10.5	5,700	△21.2	6,480	△20.2	4,190	△37.9	283.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年3月期1Q	14,776,321株	25年3月期	14,776,321株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	50株	25年3月期	50株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年3月期1Q	14,776,271株	25年3月期1Q	13,132,903株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年末より急速に進行した円安、株高により、企業、消費者の景況感の改善が進みました。民間設備投資、消費も着実な増加傾向を示し、景気は穏やかな回復基調を辿りました。

このような経済状況の下で、当社グループは、高付加価値空間創造企業として、省エネ性能を重視した高効率LED照明器具の新製品開発、製造及び販売に経営資源を集中して取り組みました。高効率直管型LED照明器具のLEDZ TUBEシリーズ等市場から高い評価を受けた新製品の販売は大きく伸びましたが、既存製品の売上高が昨年度の水準を下回ったため、当第1四半期連結累計期間における売上高は、85億18百万円(前年同四半期比12.0%の減収)となりました。

売上高の減少による操業度の低下に加えて、円安の進行により輸入品の原価が上昇し、営業利益は、3億94百万円(前年同四半期比81.9%の減益)と大幅な減益となりました。経常利益は、円安の進行により為替差益が発生したこと等から、10億84百万円(前年同四半期比47.8%の減益)となりました。

円安の進行により、将来の為替リスクに備えるための為替予約等の評価益が1億62百万円発生し、四半期純利益は7億48百万円(前年同四半期比20.5%の減益)となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

① 照明器具関連事業

当セグメントにおきましては、業務用LED照明器具分野で業界トップクラスの品揃えを実現し、日本全国13都市にショールームを開設するとともに、展示会の開催等の積極的な販売活動を展開することにより、業務用LED照明器具分野における高いブランドイメージの確立に努めました。新製品に対する大手設計事務所、ゼネコン、サブコン等の評価も高く、商業施設やオフィス等の大型施設向けの販売だけでなく、既存照明器具の取り換え需要に対しても積極的に販売活動を推進しました。しかしながら、昨年度の大幅な需要増加の反動もあって照明業界全体の市場拡大は減速し、当セグメントの売上高は、わずかながら減少しました。

海外子会社であるENDO Lighting(THAILAND)Public Co.,Ltd.及び昆山恩都照明有限公司(中国)は、LED照明器具の主力製造工場として生産体制を強化し、高品質でローコストな製品の安定供給を実現しておりますが、急激な円安進行により、円ベースの製造コストが上昇し、連結売上総利益率が低下しました。

この結果、売上高は92億8百万円(前年同四半期比2.6%の減収)(セグメント間取引含む。以下同じ。)、セグメント利益(営業利益。以下同じ。)は7億61百万円(前年同四半期比68.5%の減益)となりました。

② 環境関連事業

当セグメントにおきましては、当社グループの提供する、省エネ性能を重視した高効率LED照明器具や制御機器の消費電力削減効果が、食品スーパーを始め流通店舗で高い評価を得て、レンタル契約実績、機器販売高は順調に増加しました。

この結果、売上高は11億4百万円(前年同四半期比12.4%の増収)、セグメント利益は1億12百万円(前年同四半期比30.7%の減益)となりました。

③ インテリア家具事業

当セグメントにおきましては、業務用家具に特化したカタログを建築士やインテリアデザイナー等に配布し、積極的な販売促進活動を展開する一方、代理店網の強化や特注家具の販売にも積極的に取り組み、ブランド認知度の向上と販路開拓に注力しました。インテリア家具事業を取り巻く環境は依然として厳しい状況にありますが、更なるコストダウン・物流合理化を推進することで採算性の向上を図っております。

この結果、売上高は1億92百万円(前年同四半期比10.1%の減収)と減収となりましたが、採算重視の営業活動を展開した結果、セグメント損失は18百万円(前年同四半期は59百万円のセグメント損失)と前期比で改善しました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間における総資産は、463億27百万円(前連結会計年度末比18億93百万円の増加)となりました。

主な要因は、現金及び預金の増加18億34百万円及びたな卸資産の増加15億19百万円、売上債権の減少18億99百万円によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間における負債は、242億18百万円(前連結会計年度末比11億17百万円の増加)となりました。

主な要因は、借入金の増加25億29百万円及び仕入債務の増加6億33百万円、未払法人税等の減少20億67百万円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間における純資産は、221億9百万円(前連結会計年度末比7億75百万円の増加)となりました。

主な要因は、四半期純利益7億48百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間における業績の進捗等を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成25年5月10日に公表しました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

平成26年3月期第2四半期連結業績予想の修正(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
①前回発表予想	22,860	3,440	3,600	2,290	154.97
②今回修正予想	19,010	1,600	2,440	1,630	110.31
③増減額 ②-①	△3,850	△1,840	△1,160	△660	—
④増減率 ③/①	△16.8	△53.5	△32.2	△28.8	—
(参考)前期第2四半期実績 (平成25年3月期第2四半期)	20,679	4,499	4,063	2,367	171.52

平成26年3月期通期連結業績予想の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
①前回発表予想	48,010	8,150	8,190	5,170	349.88
②今回修正予想	44,000	5,700	6,480	4,190	283.56
③増減額 ②-①	△4,010	△2,450	△1,710	△980	—
④増減率 ③/①	△8.4	△30.1	△20.9	△19.0	—
(参考)前期実績 (平成25年3月期)	39,826	7,237	8,124	6,749	472.45

(参考)

平成26年3月期第2四半期個別業績予想の修正(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
①前回発表予想	21,250	2,910	1,810	122.49
②今回修正予想	18,650	1,770	1,230	83.24
③増減額 ②-①	△2,600	△1,140	△580	—
④増減率 ③/①	△12.2	△39.2	△32.0	—
(参考)前期第2四半期実績 (平成25年3月期第2四半期)	19,794	2,808	1,629	118.10

平成26年3月期通期個別業績予想の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
①前回発表予想	44,120	6,380	3,960	267.99
②今回修正予想	40,230	4,520	2,930	198.29
③増減額 ②-①	△3,890	△1,860	△1,030	—
④増減率 ③/①	△8.8	△29.2	△26.0	—
(参考)前期実績 (平成25年3月期)	37,367	5,774	3,848	269.40

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,218	8,052
受取手形及び売掛金	7,372	5,472
商品及び製品	6,974	7,231
仕掛品	429	473
原材料及び貯蔵品	3,568	4,786
繰延税金資産	1,285	1,183
デリバティブ債権	172	167
その他	1,647	1,560
貸倒引当金	△56	△62
流動資産合計	27,612	28,866
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,952	7,180
減価償却累計額	△2,336	△2,397
建物及び構築物(純額)	4,616	4,783
機械装置及び運搬具	2,261	2,554
減価償却累計額	△1,422	△1,486
機械装置及び運搬具(純額)	838	1,068
土地	3,662	3,642
リース資産	1,038	1,037
減価償却累計額	△185	△225
リース資産(純額)	852	811
建設仮勘定	1,628	1,690
その他	4,090	4,489
減価償却累計額	△2,307	△2,453
その他(純額)	1,782	2,036
有形固定資産合計	13,380	14,032
無形固定資産		
ソフトウェア	619	594
のれん	863	924
その他	120	132
無形固定資産合計	1,603	1,651
投資その他の資産		
投資有価証券	292	307
繰延税金資産	486	425
デリバティブ債権	719	657
その他	461	507
貸倒引当金	△120	△120
投資その他の資産合計	1,838	1,776
固定資産合計	16,821	17,460
資産合計	44,434	46,327

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,835	3,468
短期借入金	6,135	5,722
1年内返済予定の長期借入金	1,577	2,097
リース債務	194	195
未払法人税等	2,435	368
賞与引当金	501	137
役員賞与引当金	40	—
製品保証引当金	691	658
デリバティブ債務	69	31
その他	1,605	2,333
流動負債合計	16,085	15,013
固定負債		
長期借入金	4,201	6,622
リース債務	885	836
繰延税金負債	128	116
退職給付引当金	475	468
役員退職慰労引当金	399	403
修繕引当金	25	28
デリバティブ債務	644	460
その他	255	267
固定負債合計	7,015	9,204
負債合計	23,100	24,218
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,155	5,155
資本剰余金	5,539	5,539
利益剰余金	9,822	10,201
自己株式	△0	△0
株主資本合計	20,517	20,896
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39	47
繰延ヘッジ損益	104	73
為替換算調整勘定	658	1,073
その他の包括利益累計額合計	801	1,194
少数株主持分	15	17
純資産合計	21,333	22,109
負債純資産合計	44,434	46,327

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	9,682	8,518
売上原価	5,048	5,534
売上総利益	4,633	2,984
販売費及び一般管理費	2,450	2,589
営業利益	2,182	394
営業外収益		
受取利息及び配当金	1	3
受取賃貸料	7	7
仕入割引	1	1
為替差益	8	779
その他	24	15
営業外収益合計	44	807
営業外費用		
支払利息	41	34
売上割引	74	81
その他	32	2
営業外費用合計	148	118
経常利益	2,078	1,084
特別利益		
固定資産売却益	0	—
デリバティブ評価益	—	162
特別利益合計	0	162
特別損失		
固定資産除売却損	1	10
デリバティブ評価損	601	—
その他	15	—
特別損失合計	617	10
税金等調整前四半期純利益	1,461	1,235
法人税、住民税及び事業税	488	318
法人税等調整額	31	170
法人税等合計	520	488
少数株主損益調整前四半期純利益	940	747
少数株主損失(△)	△1	△1
四半期純利益	941	748

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	940	747
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9	8
繰延ヘッジ損益	—	△30
為替換算調整勘定	118	411
その他の包括利益合計	108	389
四半期包括利益	1,048	1,136
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,051	1,142
少数株主に係る四半期包括利益	△2	△5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	照明器具 関連事業	環境関連事業	インテリア 家具事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	8,527	940	214	9,682	9,682
セグメント間の内部売上高 又は振替高	922	42	—	965	965
計	9,449	982	214	10,647	10,647
セグメント利益又は損失(△)	2,415	162	△59	2,519	2,519

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,519
セグメント間取引消去	△54
全社費用(注)	△282
四半期連結損益計算書の営業利益	2,182

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	照明器具 関連事業	環境関連事業	インテリア 家具事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	7,284	1,041	192	8,518	8,518
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,923	63	—	1,987	1,987
計	9,208	1,104	192	10,505	10,505
セグメント利益又は損失(△)	761	112	△18	856	856

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	856
セグメント間取引消去	△161
全社費用(注)	△300
四半期連結損益計算書の営業利益	394

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため、記載を省略しております。